



視察場所：大衡村大衡字金谷28-3

家族構成：本人、両親
(住居は、仙台市泉区寺岡。通勤農業)

就農時期：平成26年4月
…ハウス設置完成6月。

就農2年目！農業を仕事に。

農業経営として成り立つ農業をめざして～

1. 就農するまでの経過

～起業を目指し、たどりついた「農業」

実家は農家ではないが、東京農大農学部で学び、自分で起業したいと考えその中の1つが農業経営でした。



大学を卒業後、東京でコンビニ店長を2年勤務。その後、仙台に戻り青果業界のマーチャンダイザー(仕入れ販売係)として、スーパーなどの売り場調査など売り場づくりや物流に関わりました。

直売で出入りしていた生産者との出会いから、野菜づくりの興味が深まってきました。

そんな時、人生最大のターニングポイントとなる「東日本大震災」に遭遇。多くの農家が離農する状況の中、「今こそ農業をやる時だ！」と決断しました。

2. 就農準備～ 研修・農地・資金

研修：・農学部出身ですが、就農を決意してから、日本農業実践学園で、3ヶ月の研修受講。

- ・その後、普及センターの紹介で、仙台市の農業法人で2週間の体験研修。
- ・自分の経営スタイルを見極め、平成24年12月から青年農業士を務める仙台市の遠藤さん宅で1年4ヶ月、野菜の栽培技術をメインに研修を実施した。

農地：当初は、研修期間中に仙台市内の農地を探しましたが、面積が小さかったり、水利が良くなかったりで、難航しました。

最終的には、父の仕事上の知り合いを介し、数力所土地を紹介された。水源が確保され、面積も一番大きかった土地に決定しました。

資金：研修期間 → 青年就農給付金(準備型)の給付を受けました。

経営開始時 → 青年就農支援資金(就農施設等資金)を借り受け、ハウス、機械等を整備。(505万円)。

3. 経営内容（品目、面積）

①栽培面積：露地畑 50 a
パイプハウス 60坪×2棟 396㎡（120坪）

②作付品目：

（施設）大玉とまと、ミニとまと

（露地畑）なす、ピーマン、オクラ、レタス、ブロッコリー、カリフラワー、
ねぎ、アスパラ、ズッキーニ、そら豆、春菊 他。

4. 経営の特徴

・「仕事」として選んだもの。経営として成り立つ農業を目指している。
「どれくらい売ればどれくらい儲けがあるか？」

販売目標 300～400万円。

※初年目は、販売額 120万円。経費 170万円でした。

5. 労働力

昨年は、友人が1人手伝ってくれたが、今年は1人。

1人でどこまでやれるか今年が見極めの年です。

6. 出荷販売先

ヨークベニマル（2店舗）

万葉おおひら館

おてんとさん

7. 今後の経営目標

・地域は、お年寄りが多く、今後は自分が主力になる覚悟をもって取り組んでいきたい！

・労力と生産量を見極め、契約栽培やJAの部会加入も検討していく。

8. 新規参入者希望者へ一言

「起業するには、お金が必要。自己資金の準備を。」

.....

★教えてください！

【共通の質問～農業への道すじ・5つのクエスチョン】

Q1. 農業を始めた動機は何ですか？（想いから決意に変化したのは）

Q2. 技術や経営研修は？

Q3. 土地の紹介は？市や集落への相談や手順は？

Q4. 自己資金の準備は、どの位でスタート？

Q5. 家族の理解と協力は？

【参加者の皆さんから】

・土づくり対策について、具体的に教えてください。

・病害虫対策は、どのようにしているのですか。特に、予防対策は？

・営農を開始した時の、最初の販路の確保はどのようにしたのですか？

・経営の採算性や品目選定基準は？

【國府雄人さんへの質問】

・就農するにあたり、非農家であることの
デメリットはなんですか？

・失敗談があったら教えてください。

・ハウスの導入費用やランニングコストは？

